

国土交通省は10日、2013年3月末現在の公共交通機関のバリアフリー化状況を公表した。バリアフリー法に基づき、1日当たりの平均利用者が3,000人以上の旅客施設（鉄道駅3,491か所、バス発着駅50か所、旅客船乗り場16か所、空港33か所）などの状況をまとめた。

段差が解消したのは鉄道駅83%、バス発着駅82%、旅客船乗り場88%、空港85%。旅客施設全体では83%だった。

点字ブロックは鉄道駅93%、バス発着駅80%、旅

客船乗り場69%、空港94%。施設全体では93%で設置していた。

障害者用トイレは鉄道駅80%、バス発着駅63%、旅客船乗り場71%、空港100%で設置。施設全体では80%だった。

また、移動等円滑化基準の適合車両は鉄道車両60%、ノンステップバス44%、旅客船29%、航空機93%で導入されていた。

（福祉新聞・第2689号 2014年10月20日）

お知らせ

2015年度ボバース概念小児領域8週間講習会

発達障害を呈する小児に対して、個々の障害本質を深く掘り下げるための分析評価と、個別ごとの療育援助のプログラムを進行させる実践方法を、独自に開発して、研究と専門教育を重ねてきたBobath夫妻の卓越した業績は世界的に広く認められている。このたび日本で開催される本講習会は、London Bobath Centerを始めとして世界各地で行われている“Bobath Concept Training 8 Week Course for Pediatric Field”に相当するもので、Bobath夫妻および後継者らが発展させてきたBobath概念の理論と知識背景および実技を伝達指導し、わが国における小児領域リハビリテーション事業の発展を図ろうとするものである。

日時：2016年1月12日（火）～3月4日（金）

内容：ロンドンボバースセンターで開催されている8週間基礎講習会に準ずる。

＜講義＞ボバース概念の歴史、小児神経学、小児中枢神経疾患病因論、個体発生学、正常発達知識と臨床応用、学習障害児・脳性まひ児・重度脳損傷児の各論、感覚・知覚・認知の正常発達と障害分析、コミュニケーション、摂食機能、そのほかPT・OT・STの各論／＜実技＞姿勢制御、運動制御、正常分析と問題点整理、促通手技、運動効果器の生理的調整、感覚統合調整、その他／＜デモンストレーション＞PT・OT・ST各インストラクター／講師による患者治療実証／＜治療実習＞実際の患者治療を指導する。

会場：社会医療法人大道会森之宮病院（大阪府大阪市城東区森之宮2丁目1-88）

講師：鈴木恒彦（大阪発達総合療育センターセンター長）ほか医師数名、紀伊克昌ほか理学療法士ボバースインストラクター数名、ほか作業療法士、言語聴覚士インストラクター

受講費：324,000円（消費税込、宿泊費・食費は含みません）

定員：20名（申し込み多数の場合は選考のうえ決定）

受講対象者：小児経験年数3年以上の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師

申し込み方法：申し込み用紙をダウンロード（<http://homepage2.nifty.com/bobath/>）し、必要事項をご記入のうえ、事務局宛に郵送ください。＊インターネットで申し込み書をダウンロード、印刷できない場合、返信用封筒（82円切手貼付）およびCP基礎コース希望と書いたメモを同封のうえ、事務局宛に受講申し込み用紙をご請求ください。

問い合わせ・申し込み先：☎ 536-0025 大阪府大阪市城東区森之宮2-1-88

森之宮病院講習会準備室内宛（担当：福井）

Tel：06-6962-6722 Fax：06-6969-9667

申し込み締め切り：2015年8月29日（金）必着

主催：社会医療法人大道会

共催：アジア小児ボバース講習会講師会議（ABPIA）

後援：（社）日本作業療法士協会